

## ◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)ありました。症状はありません。感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は32例となりました。  
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。  
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症)の報告が1例(40歳代男性)あり、症状は肝膿瘍です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数20例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(40歳代男性及び70歳代女性)(第50週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は45例となりました。
- 百日咳の報告が1例(10歳未満女性)あり、症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は81例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数は京都市で3.58(247例)となり、流行入りの目安とされる1.0を超えました。全国では8.05で、全ての都道府県で1.0を超えており、北海道、愛知県、三重県、奈良県、熊本県及び鹿児島県の6道県では注意レベルの10を超えています。
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.09(391例)で、第47週4.93(212例)から4週続けて増加しています。全国でも同様の傾向です。手洗いやうがいの励行、食品の十分な加熱、調理器具の消毒など予防に努めましょう。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザ定点当たり報告数は、3.58で先週の0.83より4倍以上増加し、流行入りの目安である「1」を超過しました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 なし, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 330例(肺結核 148例, その他結核 78例, 潜在性結核感染者104例)うち喀痰塗抹陽性 76例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数32例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 45例】
- 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 81例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	3.58	247
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.09	391
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.65	71
	③ 水痘	0.58	25
	④ 咽頭結膜熱	0.42	18
	④ 手足口病	0.42	18
	④ 伝染性紅斑	0.42	18
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

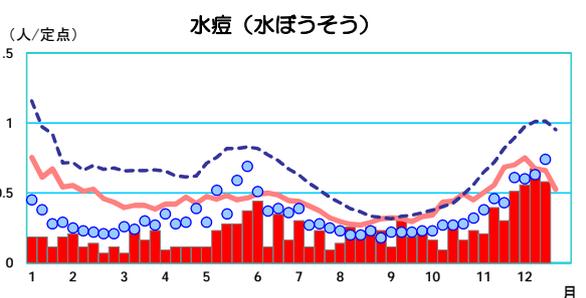
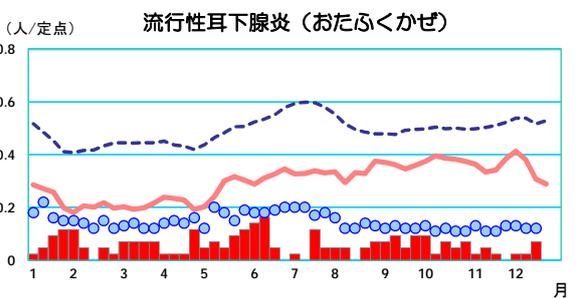
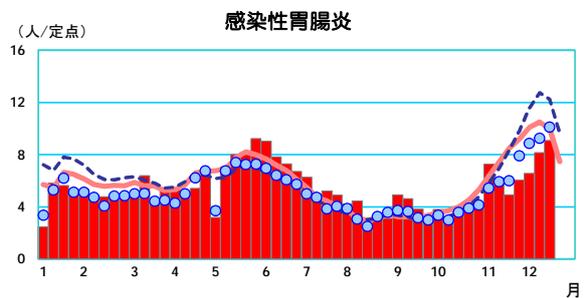
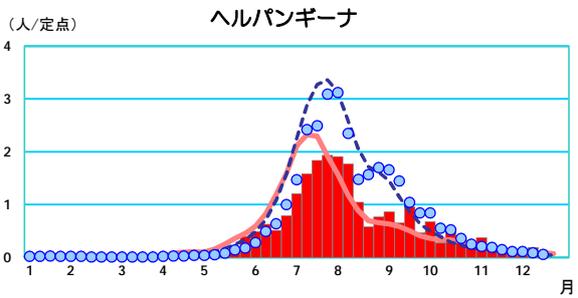
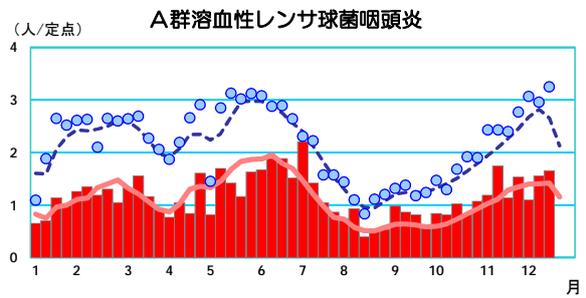
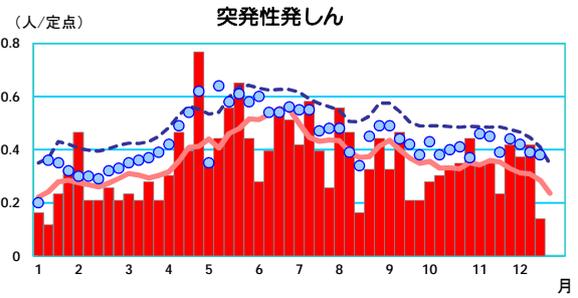
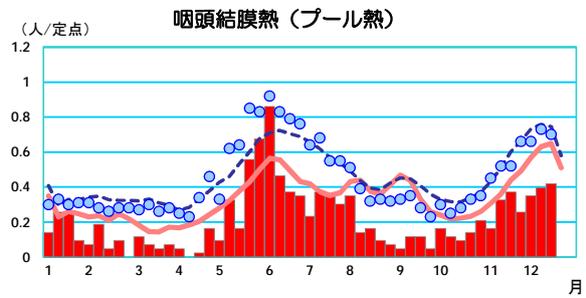
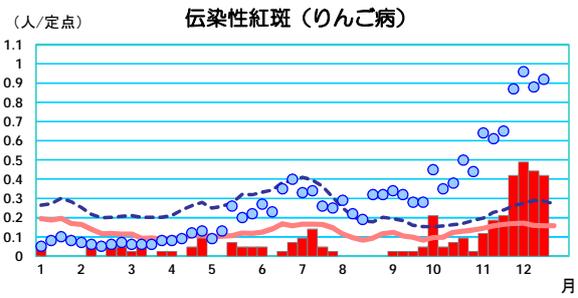
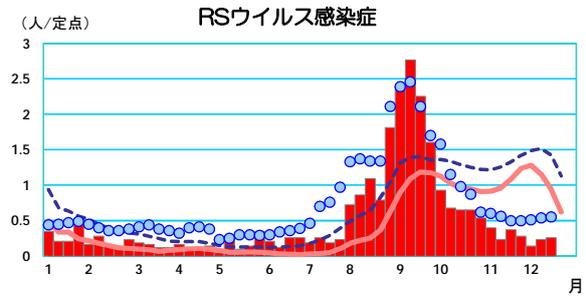
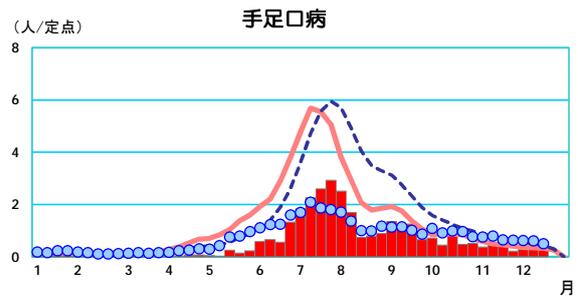
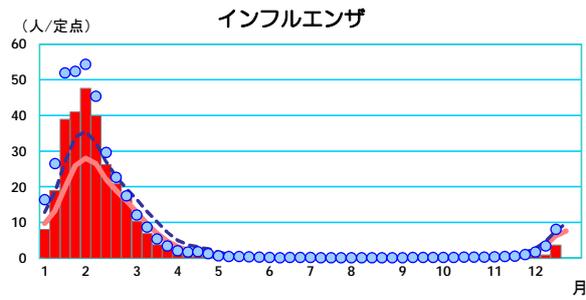
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年12月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



## 第51週(12月17日～12月23日)トピックス: <インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザ定点当たり報告数は、3.58で先週の0.83より4倍以上増加し、流行入りの目安である「1」を超過しました。過去5年平均の京都市の定点当たり報告数の推移は、第49週に流行入りし、第5週にピークを迎えていますので、例年に比べて2週遅い流行入りとなりました。全国ではすでに第49週に流行入りしており、今週の定点当たり報告数は8.05で、先週の3.35より2倍以上の増加となりました(図1)。

また、過去2シーズンの京都市の年齢階層別定点当たり報告数は、0歳～14歳が最も多く、次いで15歳～59歳、60歳以上の順で推移しています(図2)。一方、同じ過去2シーズンの全国のインフルエンザによる入院患者数は、60歳以上が最も多く、次いで0歳～14歳、15歳～59歳の順となっております(図3)、60歳以上の方はインフルエンザに感染すると、重篤化して入院される割合が高く注意が必要です。

インフルエンザの予防策としては手洗い、うがい、咳エチケットなどの一般的な衛生行動が重要です。京都市では咳エチケットについて紹介しています。詳しくは下記URLを御参照ください。

○「咳やくしゃみの症状があるときは 咳エチケット」

京都市こどもの感染症, 平成31年1月号(PDF形式), (京都市衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

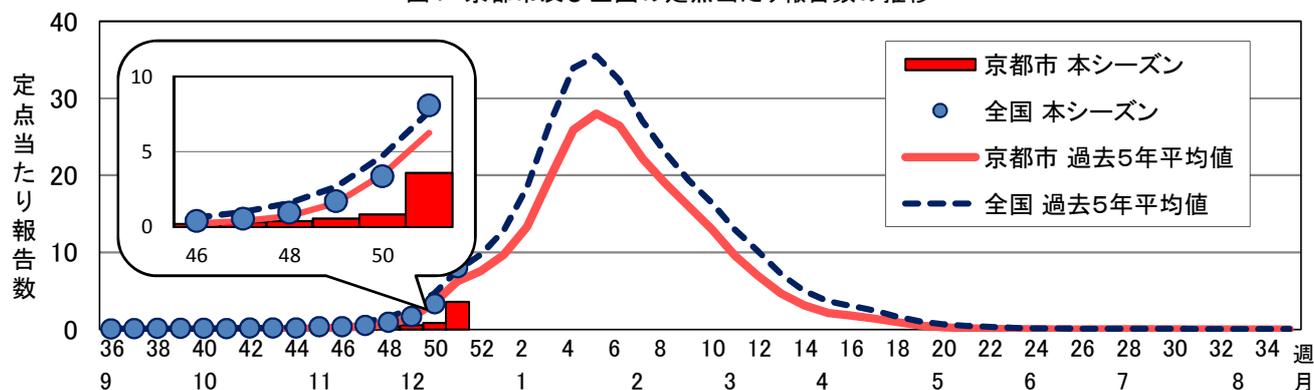


図2 京都市の年齢各級別定点報告数の推移

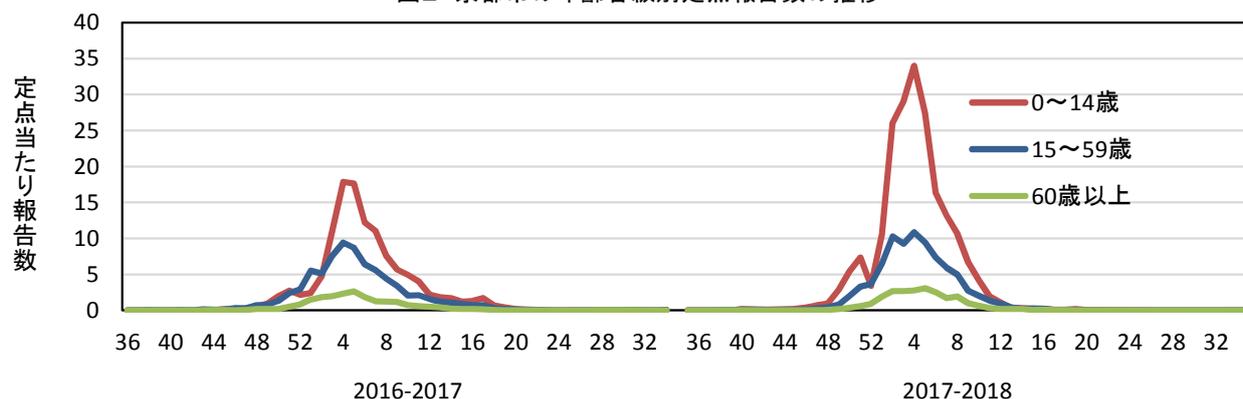
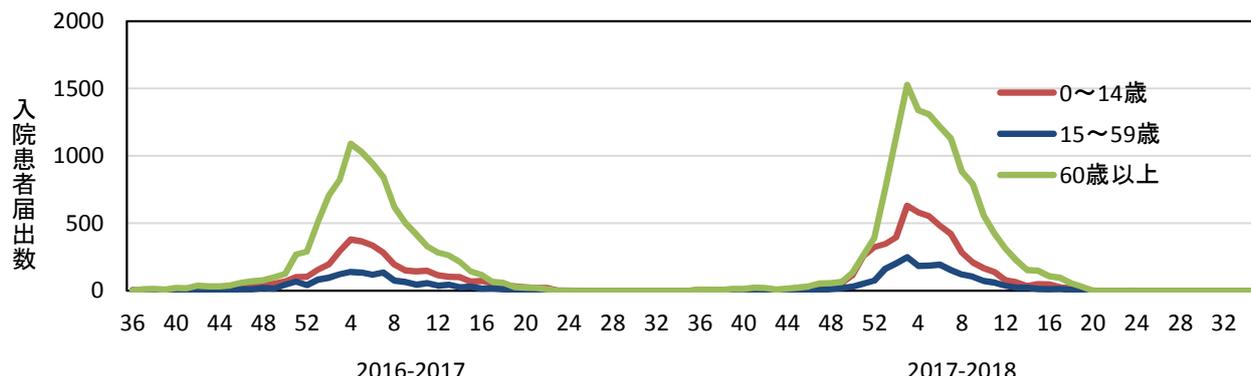


図3 全国のインフルエンザによる入院患者届出数の年齢階層別推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第51週

疾病,行政区別報告数

平成30年12月17日～平成30年12月23日

データ入手日:平成30年12月26日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	22	-	-	1	2	-	-	-	1	-	1	-	1						
上京	29	1	1	2	4	-	-	-	2	-	-	-	-						
左京	38	6	-	5	42	2	1	2	-	1	-	-	-						
中京	26	1	-	9	27	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	14	1	-	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	14	-	-	5	10	3	-	3	2	-	1	-	1						
下京	14	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-						
南	30	1	1	4	35	2	5	1	-	2	-	-	-						
右京	34	1	14	8	53	3	-	4	-	-	1	-	2						
伏見	20	-	1	21	147	8	8	4	1	2	-	-	-						
西京	6	-	1	14	42	5	3	3	-	-	-	-	-						
京都市計	247	11	18	71	391	25	18	18	6	5	3	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	3.14	-	-	0.25	0.50	-	-	-	0.25	-	0.25	-	1.00						
上京	5.80	0.33	0.33	0.67	1.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-						
左京	5.43	1.50	-	1.25	10.50	0.50	0.25	0.50	-	0.25	-	-	-						
中京	5.20	0.33	-	3.00	9.00	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4.67	0.50	-	1.00	13.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	2.00	-	-	1.00	2.00	0.60	-	0.60	0.40	-	0.20	-	1.00						
下京	4.67	-	-	-	1.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
南	6.00	0.33	0.33	1.33	11.67	0.67	1.67	0.33	-	0.67	-	-	-						
右京	4.25	0.20	2.80	1.60	10.60	0.60	-	0.80	-	-	0.20	-	2.00						
伏見	1.82	-	0.14	3.00	21.00	1.14	1.14	0.57	0.14	0.29	-	-	-						
西京	0.75	-	0.20	2.80	8.40	1.00	0.60	0.60	-	-	-	-	-						
京都市計	3.58	0.26	0.42	1.65	9.09	0.58	0.42	0.42	0.14	0.12	0.07	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年12月17日～平成30年12月23日

データ入手日:平成30年12月26日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	247	-	-	6	7	6	4	5	14	9	27	8	30	19	23	15	33	23	11	5	2
RSウイルス感染症	年齢3	11	1	-	3	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		18	-	1	1	8	2	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		71	-	-	-	2	11	11	7	9	11	6	3	8	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		391	1	17	69	39	47	36	39	20	28	14	12	25	5	39	-	-	-	-	-	-
水痘		25	-	-	-	3	-	2	5	7	1	-	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		18	-	-	4	5	2	1	3	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		18	-	-	-	1	1	6	2	1	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		6	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	3.58	-	-	0.09	0.10	0.09	0.06	0.07	0.20	0.13	0.39	0.12	0.43	0.28	0.33	0.22	0.48	0.33	0.16	0.07	0.03
RSウイルス感染症	年齢3	0.26	0.02	-	0.07	0.12	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.42	-	0.02	0.02	0.19	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.65	-	-	-	0.05	0.26	0.26	0.16	0.21	0.26	0.14	0.07	0.19	-	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		9.09	0.02	0.40	1.60	0.91	1.09	0.84	0.91	0.47	0.65	0.33	0.28	0.58	0.12	0.91	-	-	-	-	-	
水痘		0.58	-	-	-	0.07	-	0.05	0.12	0.16	0.02	-	0.07	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.42	-	-	0.09	0.12	0.05	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.42	-	-	-	0.02	0.02	0.14	0.05	0.02	0.09	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.14	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	0.40	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	-	0.10	0.10	-	-	-		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年12月26日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	13	22	27	38	57	247
RSウイルス感染症	10	16	12	6	10	11
咽頭結膜熱	14	16	11	15	17	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	49	66	47	67	71
感染性胃腸炎	267	212	260	282	351	391
水痘	17	13	22	24	29	25
手足口病	21	20	9	12	21	18
伝染性紅斑	8	9	18	21	19	18
突発性発しん	15	10	18	16	18	6
ヘルパンギーナ	8	3	5	3	8	5
流行性耳下腺炎	2	1	-	1	1	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	4	1	3	4	4
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	454	375	449	468	602	817

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.19	0.32	0.39	0.55	0.83	3.58
RSウイルス感染症	0.23	0.37	0.28	0.14	0.23	0.26
咽頭結膜熱	0.33	0.37	0.26	0.35	0.40	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.74	1.14	1.53	1.09	1.56	1.65
感染性胃腸炎	6.21	4.93	6.05	6.56	8.16	9.09
水痘	0.40	0.30	0.51	0.56	0.67	0.58
手足口病	0.49	0.47	0.21	0.28	0.49	0.42
伝染性紅斑	0.19	0.21	0.42	0.49	0.44	0.42
突発性発しん	0.35	0.23	0.42	0.37	0.42	0.14
ヘルパンギーナ	0.19	0.07	0.12	0.07	0.19	0.12
流行性耳下腺炎	0.05	0.02	-	0.02	0.02	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.40	0.10	0.30	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	10.75	8.84	10.28	10.78	13.81	17.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。